

## 令和元年度県民アンケート調査(速報)結果 概要版

	質 問 の 分 類	問題番号	ページ
1	県民の生活全般について	問1～10	1～4
2	県民の生活に関する重要度・満足度について	問11	5～6
3	奈良県への愛着について	問12	7
4	文化振興について	問13, 14	7
5	スポーツ振興について	問18, 19	8
6	食品ロス削減について	問20, 21	9
7	安全・安心の確保について	問22, 26, 27, 29	10～11
8	雇用対策について	問32,35, 37	12～13
9	少子化対策について	問39	14
10	女性の活躍推進について	問40, 41	15
11	景観・環境の保全について	問42, 43	16
12	エネルギー政策の推進について	問44, 46	17
13	回答者に関すること	問53	18

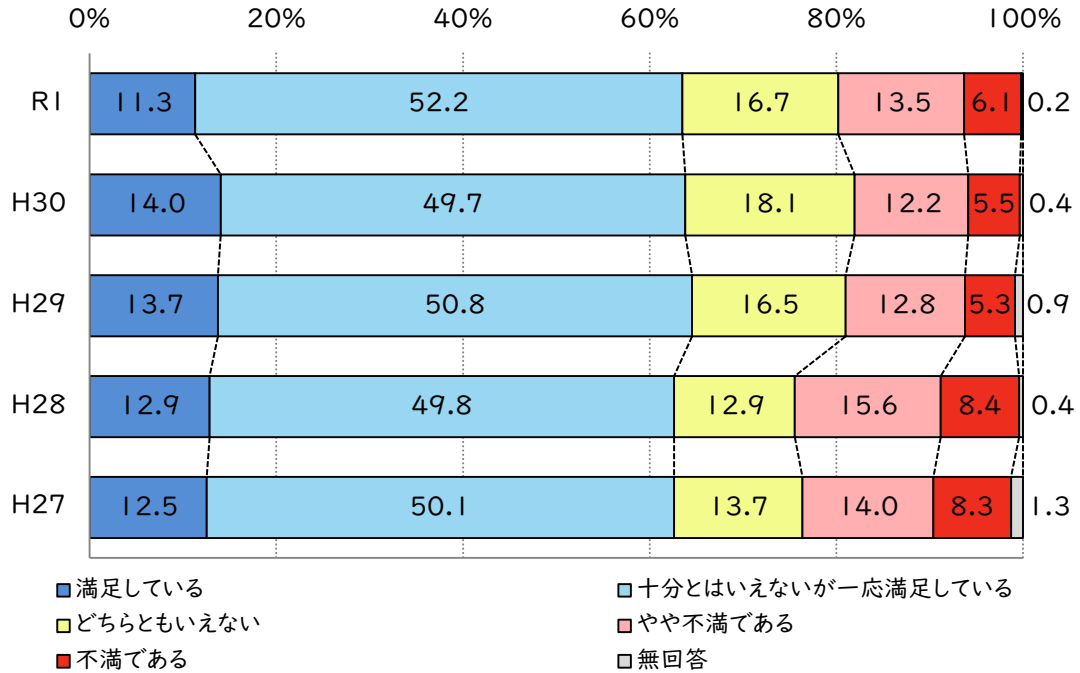
本文内の統計数値は、四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

令和元年10月

# 1. 県民の生活全般について

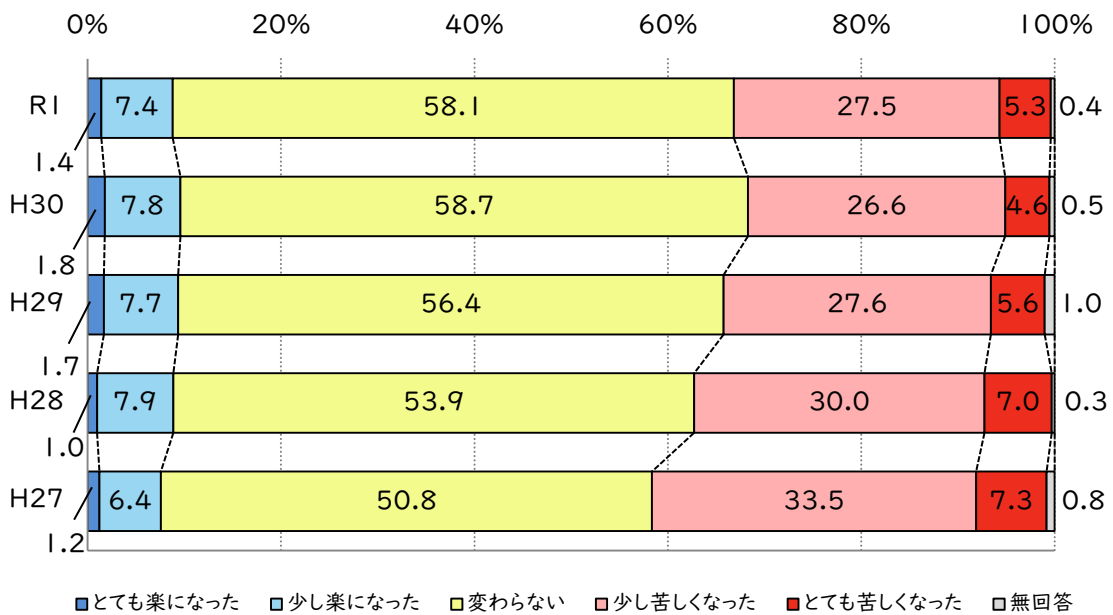
## 問1 現在の暮らし向きの実感

・「満足している」または「十分とはいえないが一応満足している」(63.5%)は、昨年(63.8%)より0.3ポイント減少。「やや不満である」または「不満である」(19.7%)は、昨年(17.8%)より1.9ポイント増加。

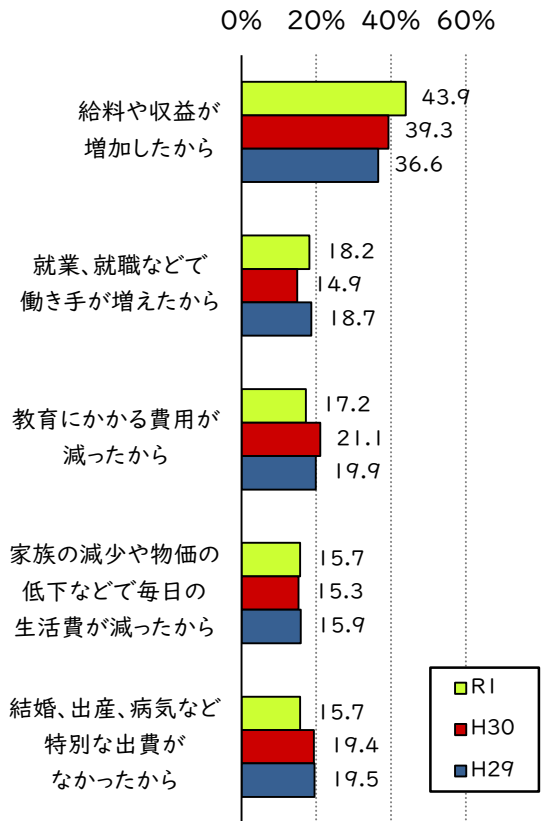


## 問2 1年前と比較した暮らし向きの実感

・「とても楽になった」または「少し楽になった」(8.7%)は、昨年(9.6%)より0.9ポイント減少。「少し苦しくなった」または「とても苦しくなった」(32.8%)は、昨年(31.2%)より1.6ポイント増加。

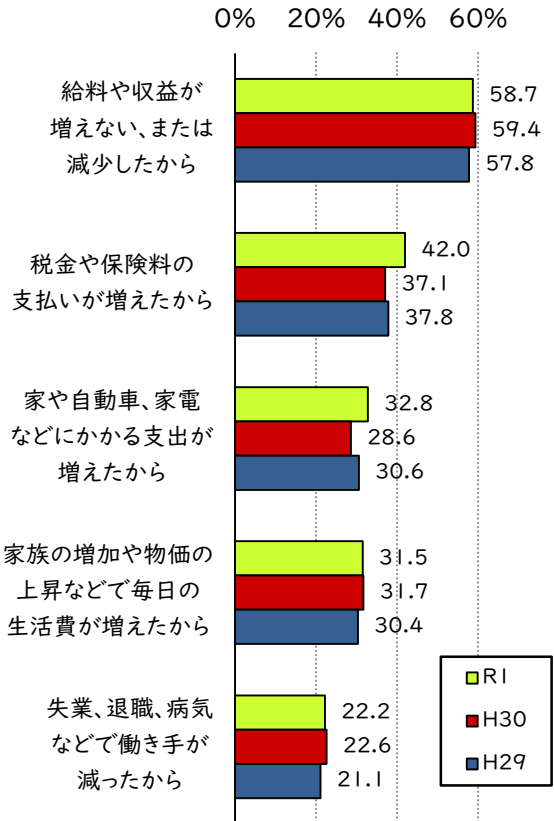


問3 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「とても楽になった」または「少し楽になった」と答えた理由



※5つ以内で複数回答  
※その他除く上位5項目

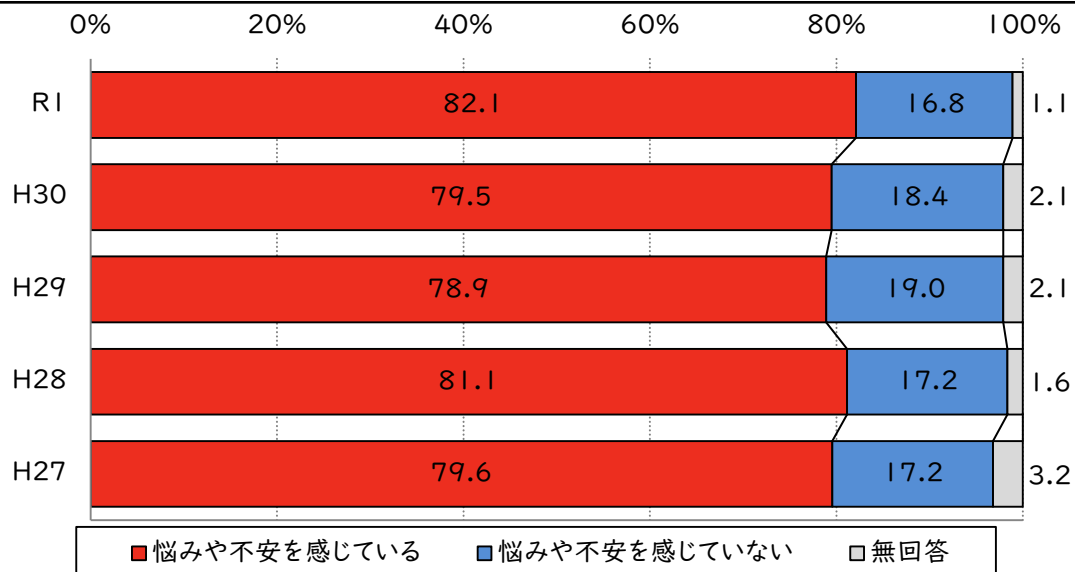
問4 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「少し苦しくなった」または「とても苦しくなった」と答えた理由



※5つ以内で複数回答  
※その他除く上位5項目

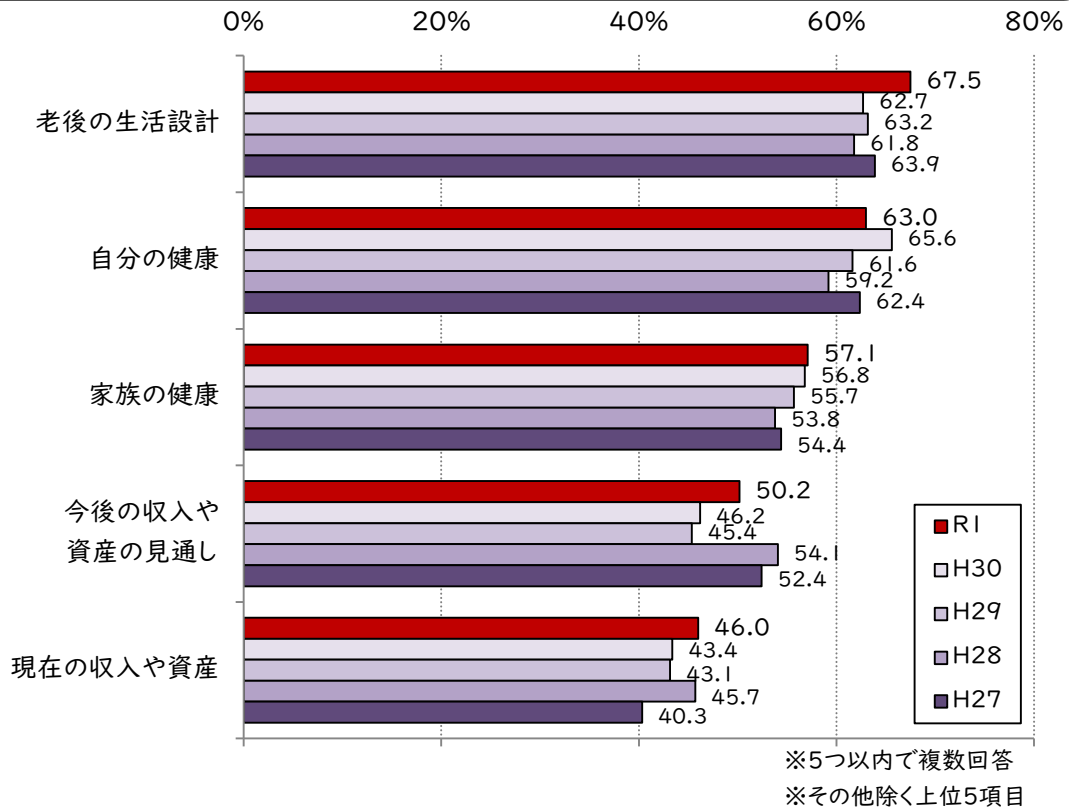
### 問5 日頃の生活での悩みや不安の有無

・「悩みや不安を感じている」(82.1%)は、昨年(79.5%)より2.6ポイント増加。一方、「悩みや不安を感じていない」(16.8%)は、昨年(18.4%)より1.6ポイント減少。



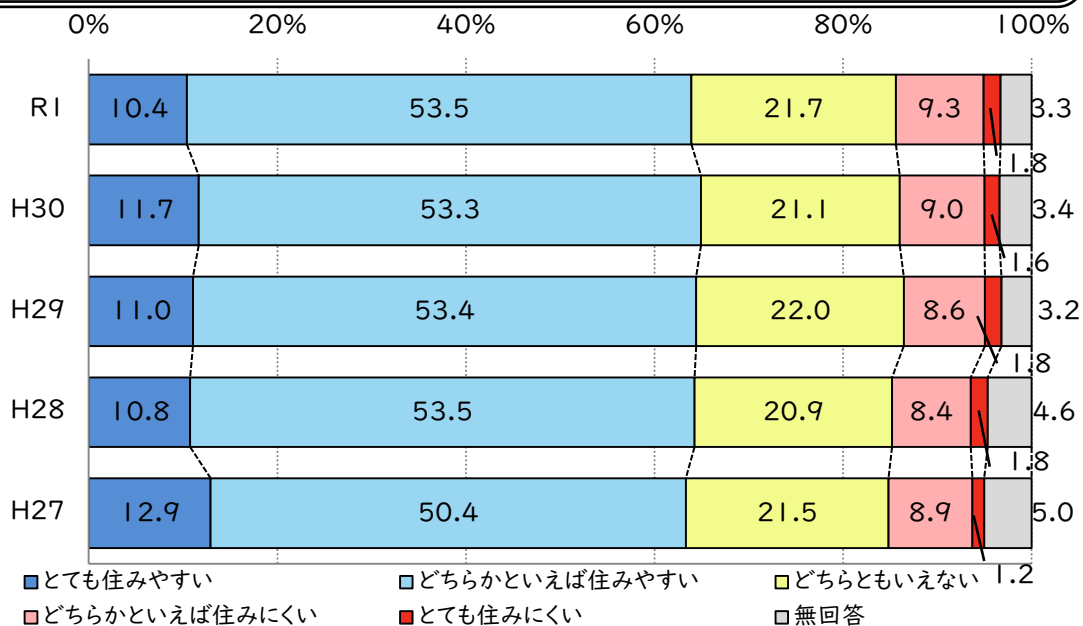
## 問6 日頃の生活での悩みや不安の内容

・「老後の生活設計」(67.5%)は、昨年(62.7%)より4.8ポイント増加、「今後の収入や資産の見通し」(50.2%)も、昨年(46.2%)より4.0ポイント増加。一方、「自分の健康」(63.0%)は、昨年(65.6%)より2.6ポイント減少。



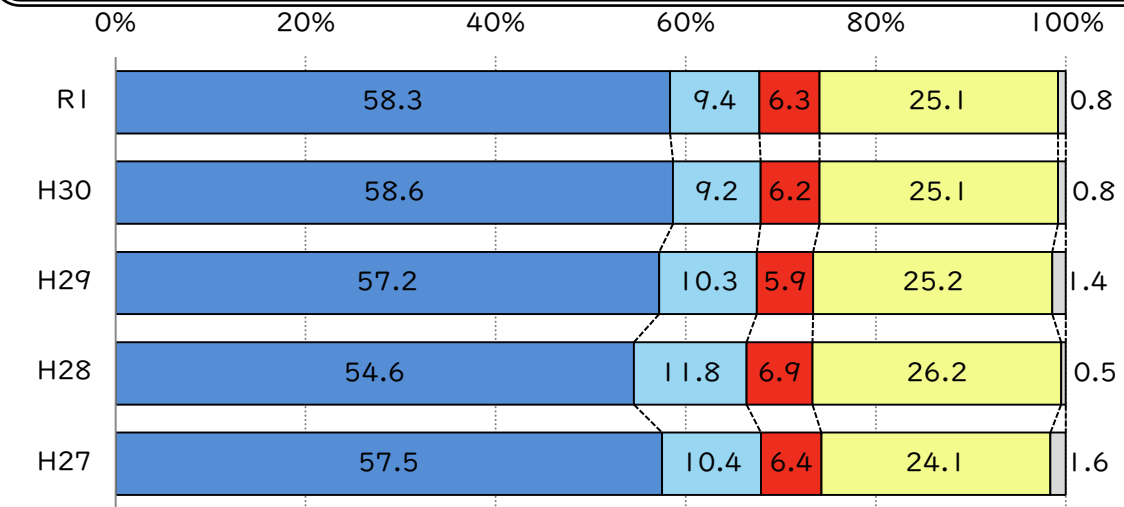
## 問7 奈良県の住みやすさの評価

・「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」(63.9%)は昨年(64.9%)より1.0ポイント減少。「どちらかといえば住みにくい」または「とても住みにくい」(11.1%)は、昨年(10.6%)より0.5ポイント増加。



## 問8 将来の奈良県での定住意向

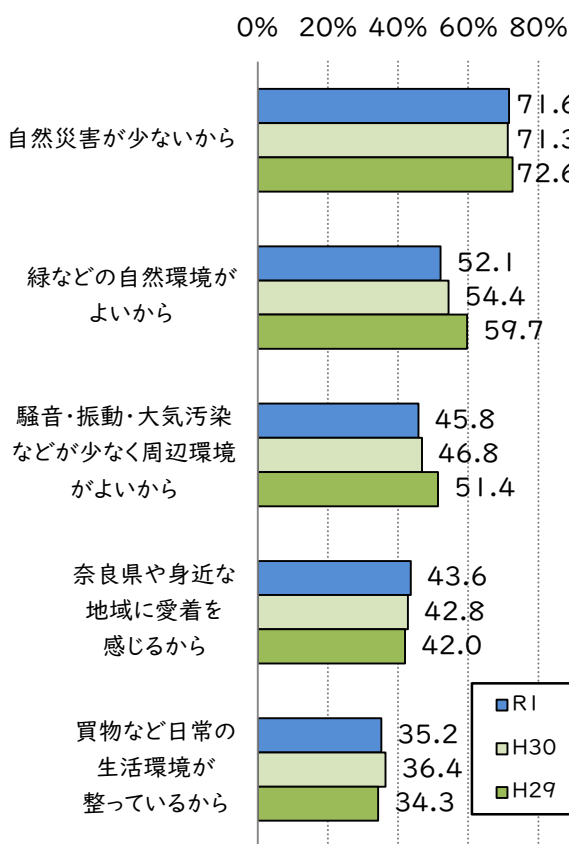
・「ずっと住みたい」または「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」(67.7%)は、昨年(67.8%)より0.1ポイント減少。「住みたくない」または「わからない」(31.5%)は、昨年(31.3%)より0.2ポイント増加。



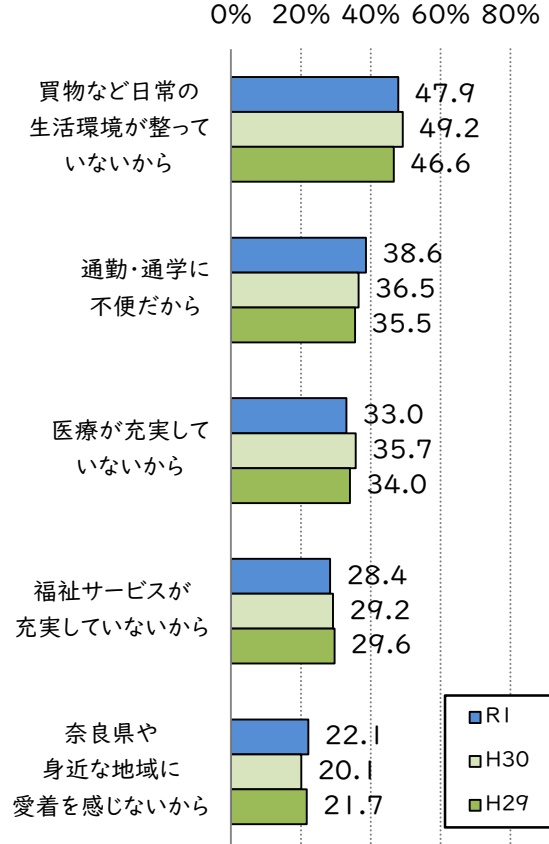
■ずっと住みたい □一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい ■住みたくない □わからない □無回答

## 問9 将来的に奈良県に「ずっと住みたい」または「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と答えた理由

## 問10 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由



※5つ以内で複数回答  
※その他除く上位5項目



※5つ以内で複数回答  
※その他除く上位5項目

## 2. 県民の生活に関する重要度・満足度について

### 問11 県民の生活に関する重要度・満足度(5段階ポイント評価)

- ・重要度の1位は「急病時に診てもらえる医療機関があること」(4.58ポイント)で、昨年(4.57ポイント)も1位。
- ・満足度の1位は「文化遺産や史跡が大事にされること」(3.58ポイント)で、昨年(3.51ポイント)も1位。

設問番号	項目	重要度					満足度					象限	
		R1順位	H29	H30	R1	ポイント差(R1-H30)	R1順位	H29	H30	R1	ポイント差(R1-H30)	H30	R1
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	17	4.03	3.97	3.98	0.01	8	3.06	3.00	3.03	0.03	A	A
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	8	4.12	4.13	4.19	0.06	28	2.89	2.84	2.79	△ 0.05	D	D
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	32	3.37	3.42	3.35	△ 0.07	11	2.96	2.97	3.01	0.04	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	31	3.38	3.43	3.39	△ 0.04	6	3.07	3.06	3.08	0.02	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	23	3.85	3.82	3.81	△ 0.01	18	2.96	2.96	2.95	△ 0.01	B	C
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	28	3.75	3.72	3.76	0.04	20	2.92	2.92	2.91	△ 0.01	C	C
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4	4.43	4.36	4.41	0.05	11	2.99	3.01	3.01	0.00	A	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	20	4.03	3.97	3.96	△ 0.01	1	3.55	3.51	3.58	0.07	A	B
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	25	3.78	3.77	3.78	0.01	14	3.03	3.03	3.00	△ 0.03	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	30	3.52	3.52	3.51	△ 0.01	21	2.96	2.95	2.90	△ 0.05	C	C
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	3	4.39	4.38	4.45	0.07	22	2.93	2.91	2.89	△ 0.02	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	6	4.27	4.28	4.28	0.00	4	3.20	3.16	3.21	0.05	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	8	4.16	4.14	4.19	0.05	25	2.79	2.79	2.84	0.05	D	D
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	2	4.50	4.48	4.52	0.04	3	3.20	3.16	3.22	0.06	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	25	3.80	3.79	3.78	△ 0.01	31	2.73	2.69	2.72	0.03	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	33	3.03	3.05	3.03	△ 0.02	25	2.85	2.84	2.84	0.00	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	29	3.65	3.68	3.69	0.01	29	2.82	2.77	2.78	0.01	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	14	3.96	3.98	4.03	0.05	33	2.61	2.58	2.57	△ 0.01	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	1	4.58	4.57	4.58	0.01	14	2.95	3.01	3.00	△ 0.01	A	A
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	7	4.22	4.21	4.23	0.02	24	2.83	2.80	2.85	0.05	D	D
21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	17	3.98	3.99	3.98	△ 0.01	7	3.04	3.00	3.05	0.05	A	A
22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	14	4.01	4.03	4.03	0.00	19	2.90	2.88	2.92	0.04	D	D
23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	5	4.29	4.31	4.32	0.01	16	2.98	2.97	2.98	0.01	A	A
24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	10	4.14	4.16	4.17	0.01	30	2.83	2.82	2.77	△ 0.05	D	D
25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	12	4.15	4.18	4.16	△ 0.02	8	3.04	3.04	3.03	△ 0.01	A	A
26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	13	4.03	4.05	4.05	0.00	17	2.99	2.97	2.97	0.00	A	A
27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	21	3.91	3.92	3.92	0.00	5	3.26	3.21	3.20	△ 0.01	B	B
28	一人ひとりが普通の生活においてCO2削減に取り組むこと	27	3.68	3.71	3.77	0.06	23	2.89	2.89	2.87	△ 0.02	C	C
29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	17	3.86	3.95	3.98	0.03	2	3.26	3.26	3.23	△ 0.03	B	A
30	失業の不安がなく働けること	10	4.16	4.15	4.17	0.02	27	2.81	2.82	2.83	0.01	D	D
31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	22	3.88	3.90	3.88	△ 0.02	11	3.00	3.00	3.01	0.01	B	B
32	県内で買いたいものが販売されていること	24	3.79	3.80	3.79	△ 0.01	8	2.99	2.99	3.03	0.04	B	B
33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	16	3.96	3.95	4.00	0.05	31	2.67	2.71	2.72	0.01	C	D
平均			3.96	3.96	3.97	0.01		2.97	2.96	2.96	0.00		

※数値は生活に関する各項目についての回答それぞれに次の点数を与え、平均をとった値。

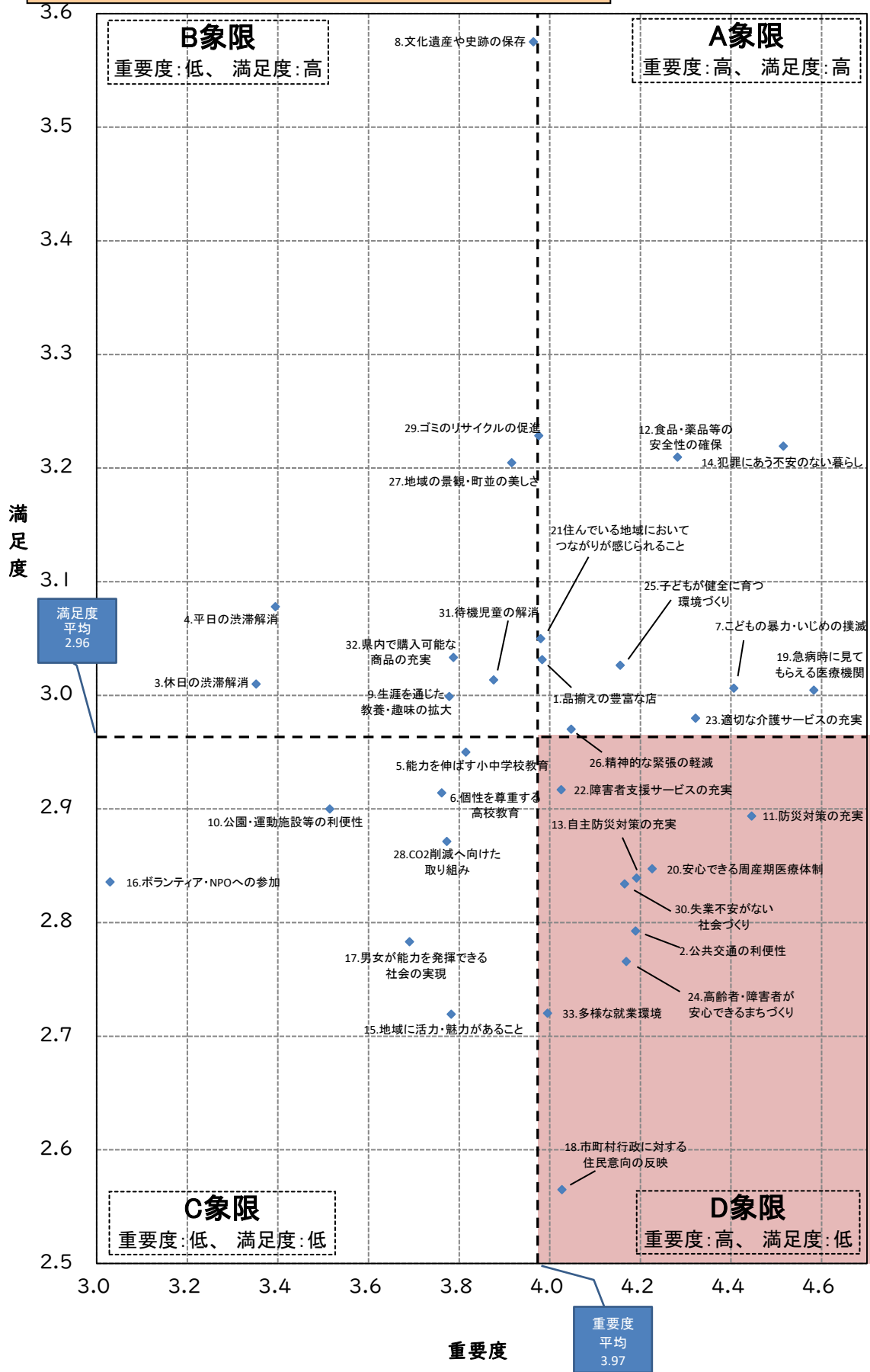
・重要度

きわめて重要(5点)かなり重要(4点)どちらともいえない(3点)さほど重要ではない(2点)全く重要ではない(1点)

・満足度

十分満たされている(5点)かなり満たされている(4点)どちらともいえない(3点)あまり満たされていない(2点)ほとんど満たされていない(1点)

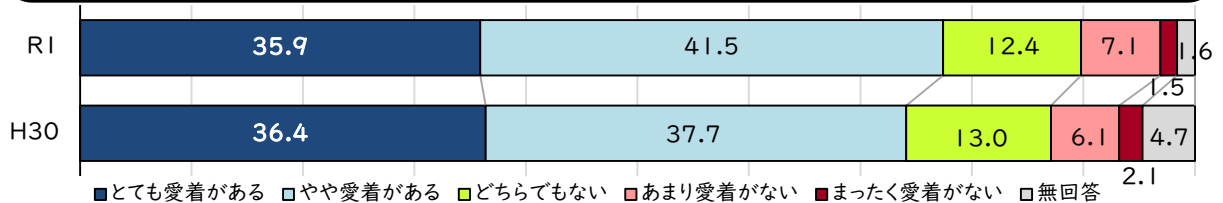
問11 県民の生活に関する重要度・満足度(RI)の分布



### 3. 奈良県への愛着について

#### 問12 奈良県に対する愛着について

・「とても愛着がある」、「やや愛着がある」（77.4%）は、昨年（74.1%）より3.3ポイント増加。「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」（8.6%）も、昨年（8.2%）より0.4ポイント増加。



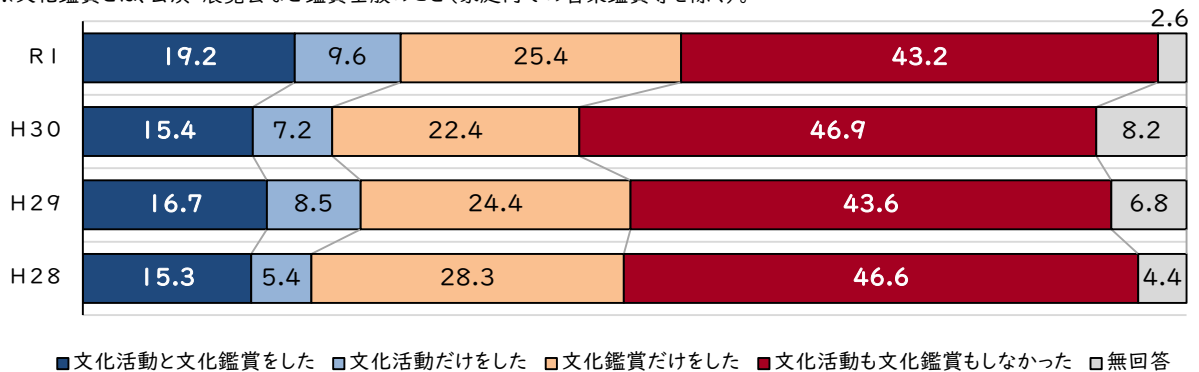
### 4. 文化振興について

#### 問13・14 文化活動・文化鑑賞、ムジークフェストならの認知度について

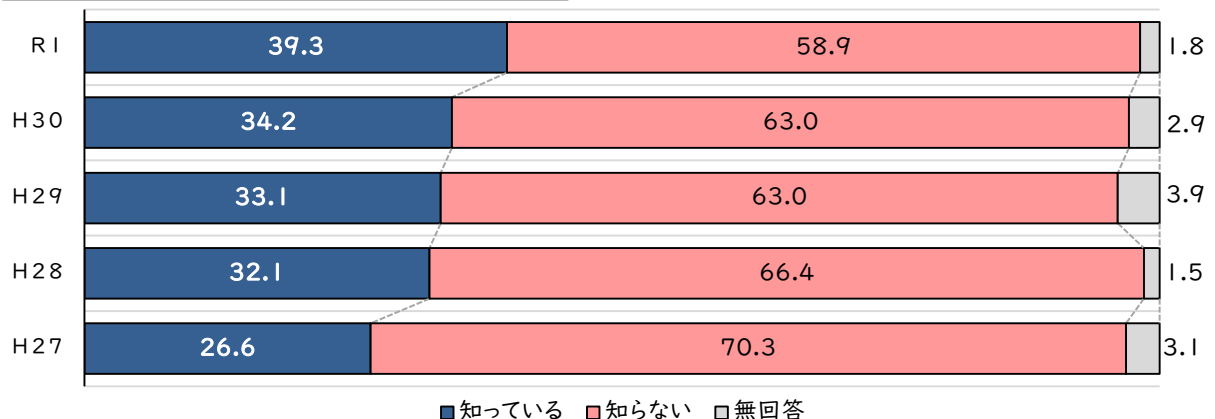
・この1年間に文化活動又は文化鑑賞をした人(54.2%)は、昨年(45.0%)より9.2ポイント増加した。  
 ・ムジークフェストならの認知度は、「知っている」(39.3%)が昨年(34.2%)より5.1ポイント増加した。

#### 問13 この1年間の文化活動・文化鑑賞の有無

※文化活動とは、習い事や趣味の他、楽器の演奏やダンスなど自ら主体的に行う活動全般のこと。  
 ※文化鑑賞とは、公演・展覧会など鑑賞全般のこと（家庭内での音楽鑑賞等を除く）。



#### 問14 ムジークフェストならの認知度



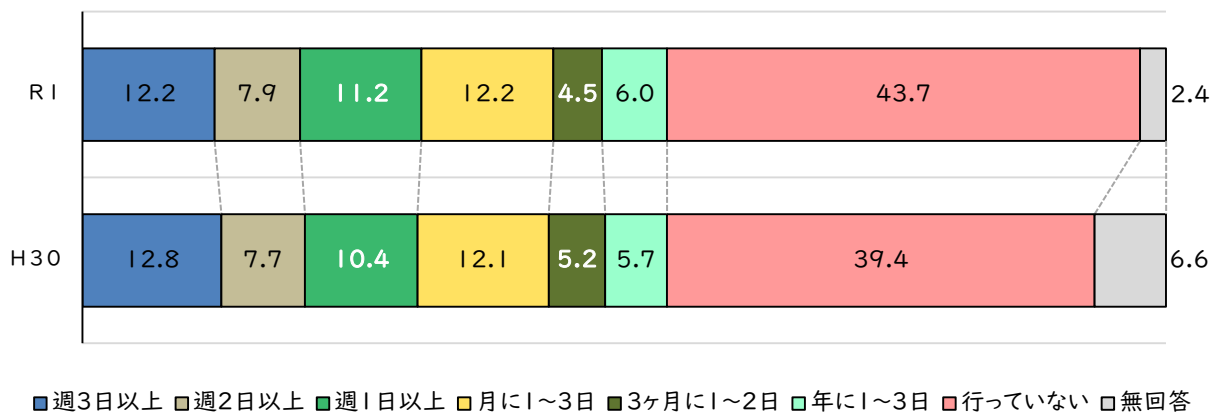


## 5. スポーツ振興について

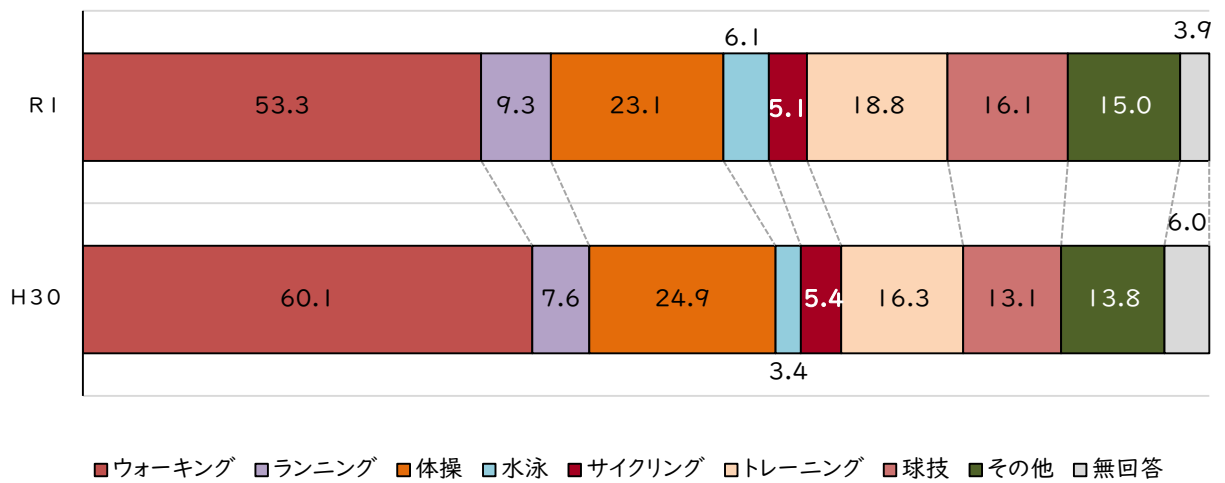
### 問18・19 運動やスポーツの実施について

・この1年間に運動・スポーツを行った日数について、1日でも運動・スポーツを行った人は53.9%で、昨年(54.0%)より0.1ポイント減少した。  
 ・行っている運動については、ウォーキング(53.3%)が最も多く、体操(23.1%)が次に多かった。

問18 この1年間に運動・スポーツを行った日数



問19 行っている運動 (週3日以上から年に1~3日行ったと回答した人のみ)



※複数回答

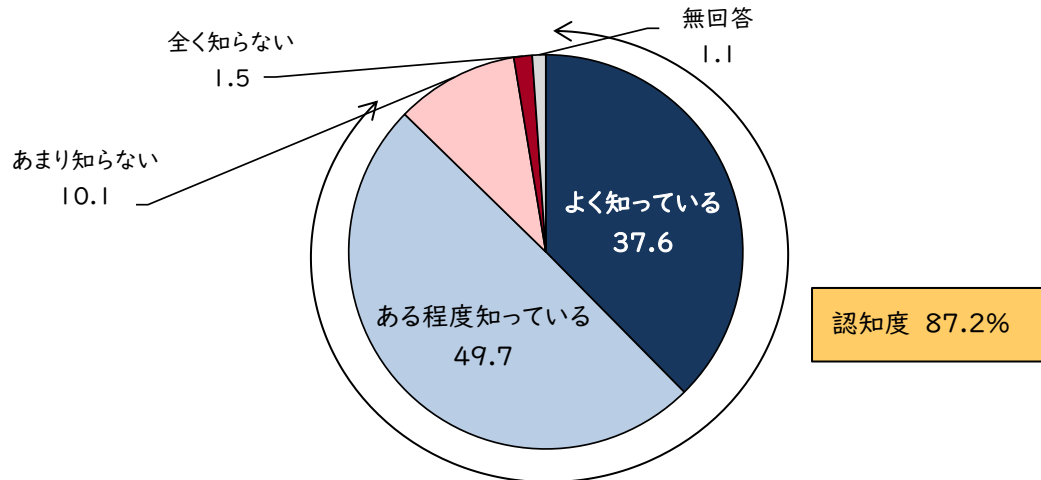
## 6. 食品ロス削減について

### 問20・21 食品ロス問題の認知度、取り組みについて

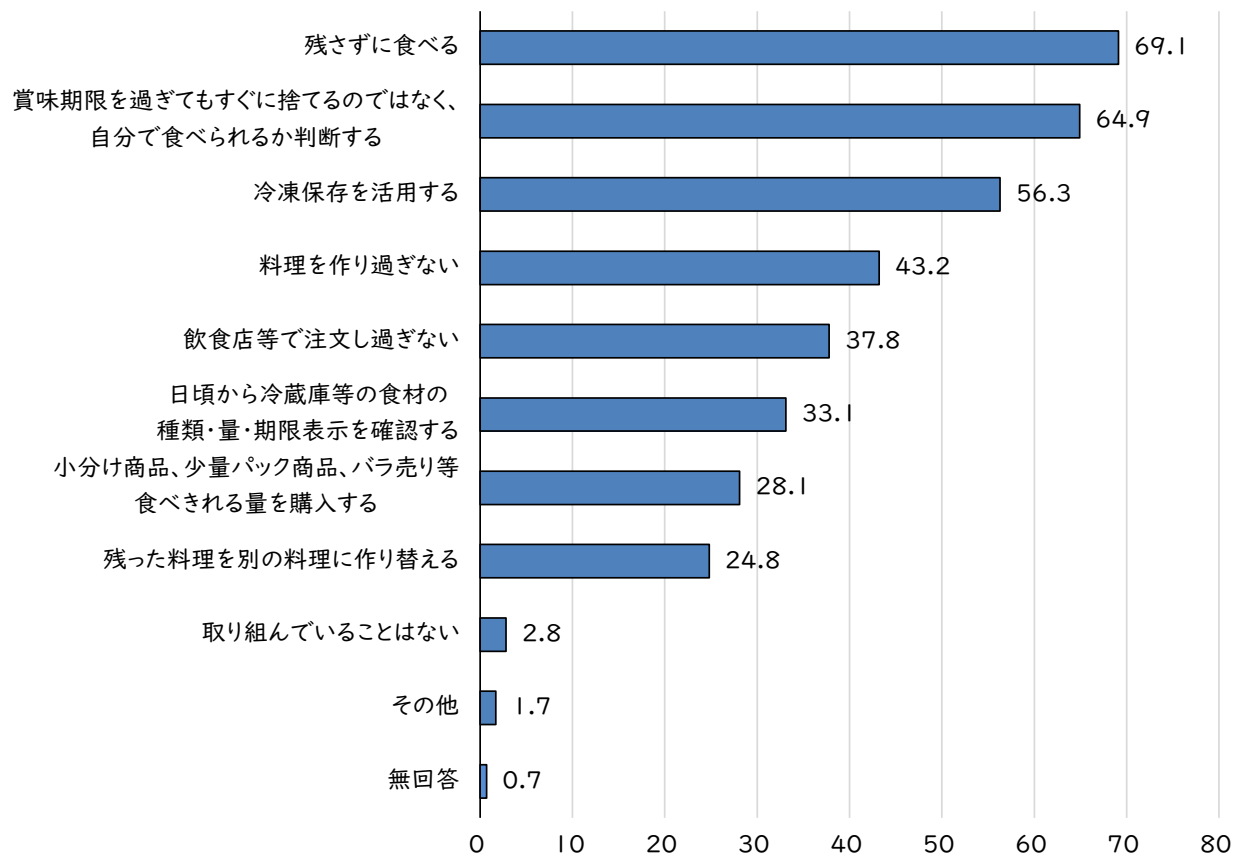
- 食品ロス問題を「よく知っている」または「ある程度知っている」と答えた人は87.2%で、「あまり知らない」または「全く知らない」と答えた人は11.6%だった。
- 食品ロスを減らすために取り組んでいることについては、「残さず食べる」(69.1%)が最も多かった。

#### 問20 「食品ロス」問題の認知度

※食品ロス…食べられるのに廃棄される食品のことで、食料資源の浪費や環境への負荷などの観点から問題となっています。



#### 問21 「食品ロス」を減らすために取り組んでいること



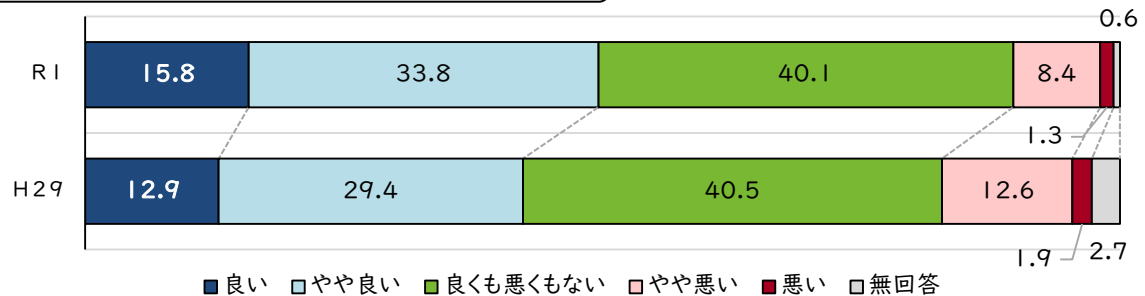
※複数回答

## 7. 安全・安心の確保について

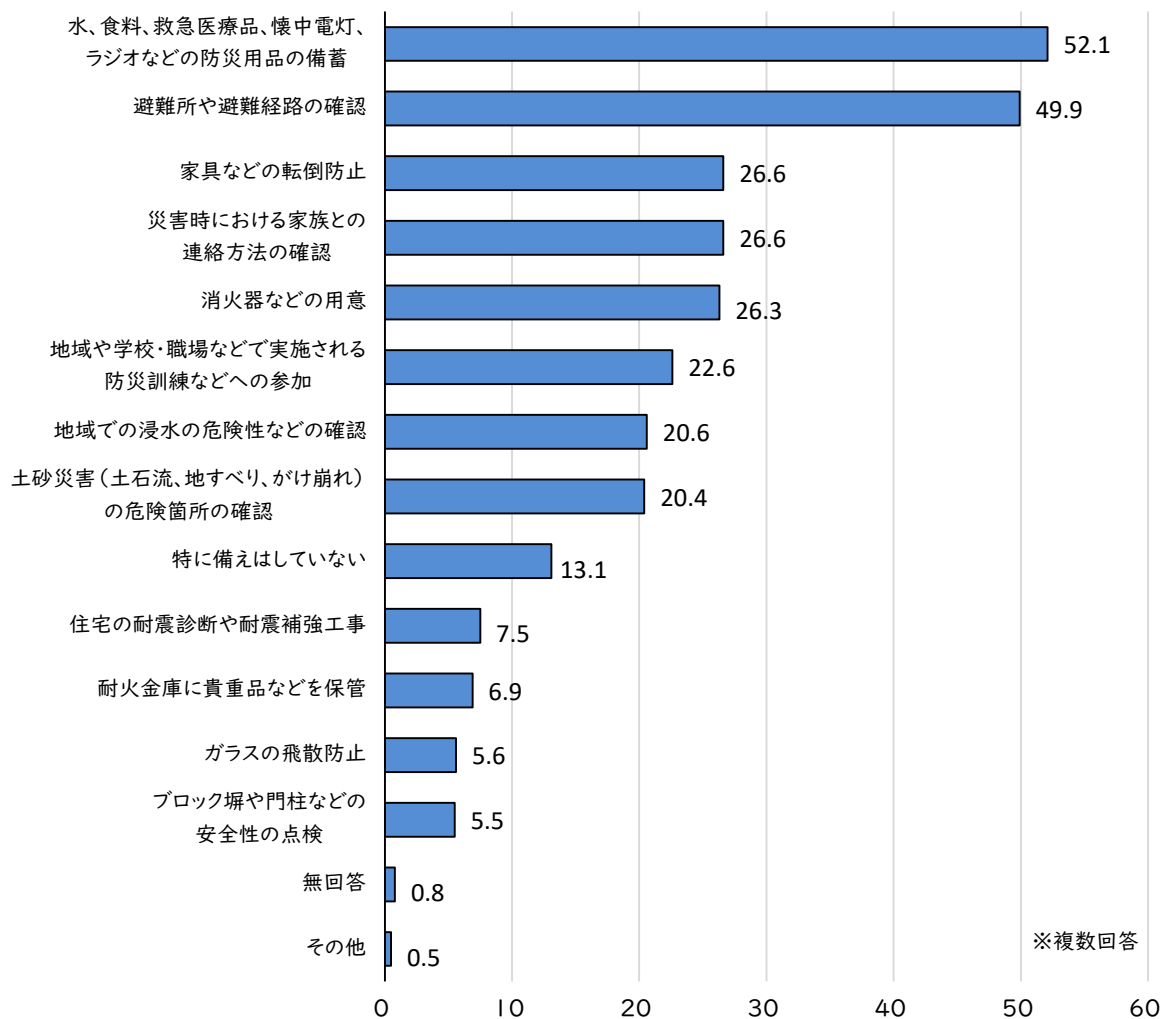
### 問22・26 奈良県の治安情勢・地震や災害への備え

- ・現在の奈良県の治安情勢について、「良い」「やや良い」と答えた人は49.7%で、平成29年(42.3%)より7.4ポイント増加した。
- ・地震や風災害、火災が起こったときのための日頃の備えについては、「水、食料、救急医療品、懐中電灯、ラジオなどの防災用具の備蓄」(52.1%)が最も多く、「避難所や避難経路の確認」(49.9%)が次に多かった。

#### 問22 現在の奈良県の治安情勢について



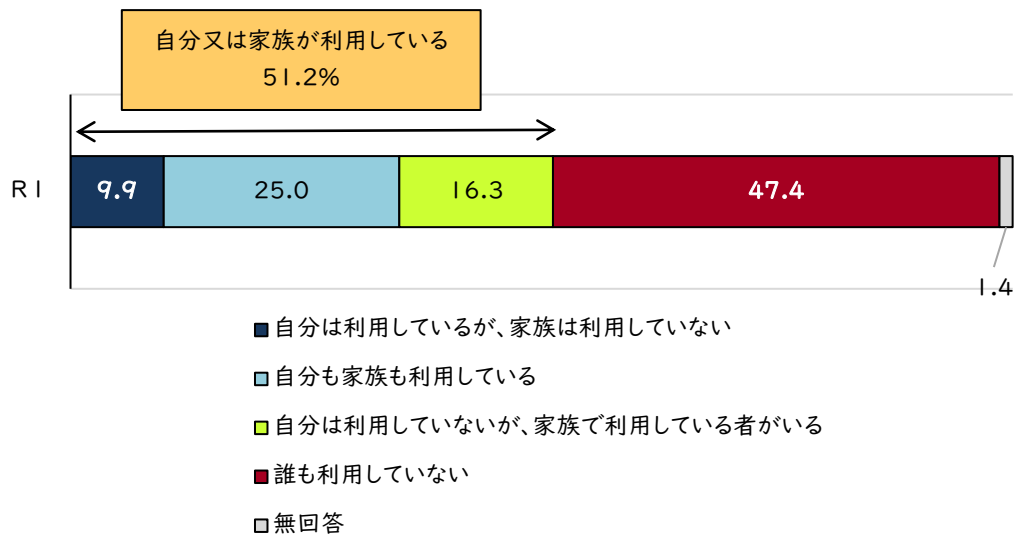
#### 問26 地震や風災害、火災が起こったときのための日頃の備えについて



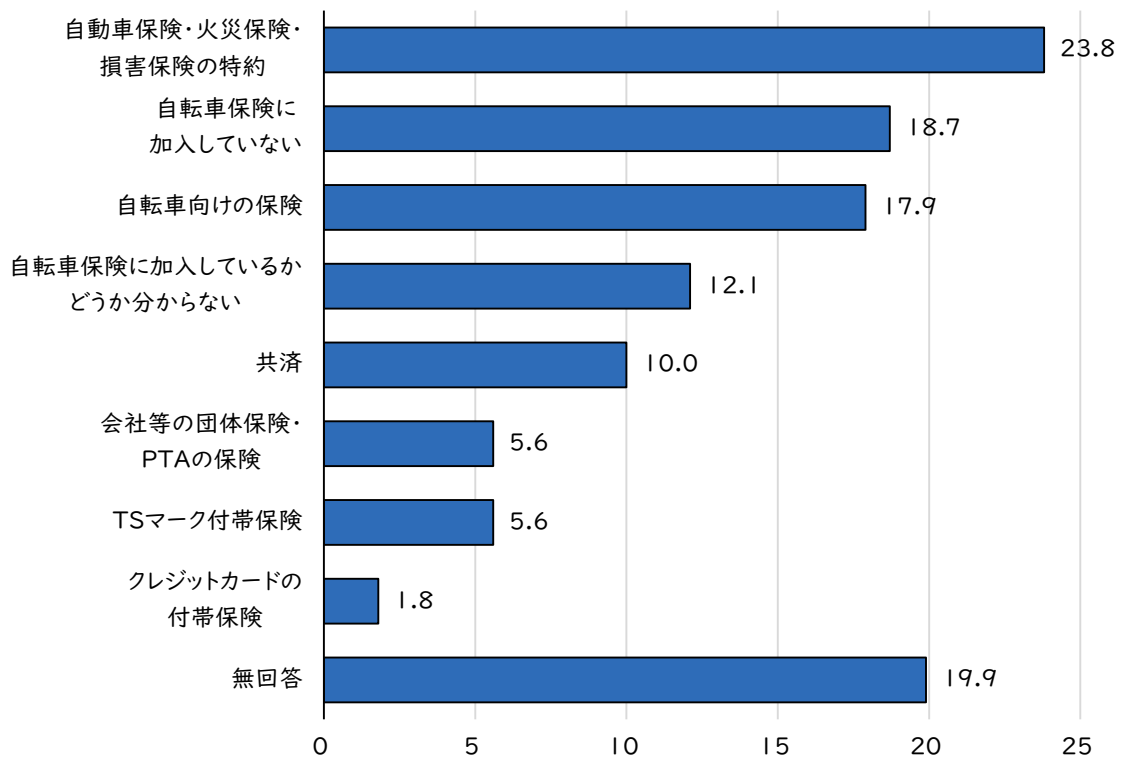
## 問27・29 自転車の利用と自転車保険について

- ・「自分又は家族が利用している」と回答した人は、51.2%だった。
- ・自転車を利用している人が加入している保険の種類については、「自動車保険、火災保険、傷害保険の特約」(23.8%)が最も多かった。「自転車保険に加入していない」(18.7%)が次に多かった。

### 問27 自転車の利用について



### 問29 加入している損害賠償保険や自転車保険の種類について



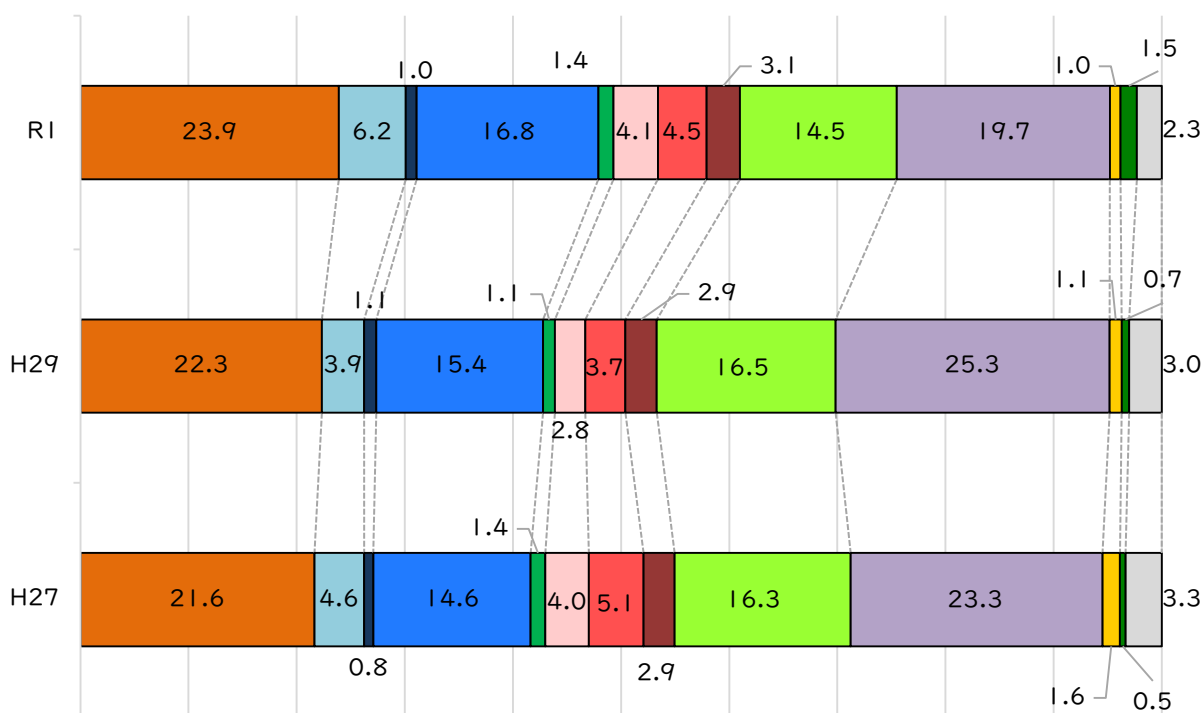
※ご自身、もしくはご家族が自転車を利用されている方のみ回答  
複数回答

## 8. 雇用対策について

### 問32 現在の仕事について

- ・現在の仕事について、有職者においては「正規の職員・従業員」(23.9%)が最も多く、平成29年(22.3%)より1.6ポイント増加した。次いで、「パート・アルバイト(学生を除く)」(16.8%)が多く、こちらも平成29年(15.4%)より1.4ポイント増加した。
- ・平成29年と比較して増減幅が大きかったのは「無職」(19.7%)で、平成29年(25.3%)より5.6ポイント減少した。

### 問32 現在の仕事について

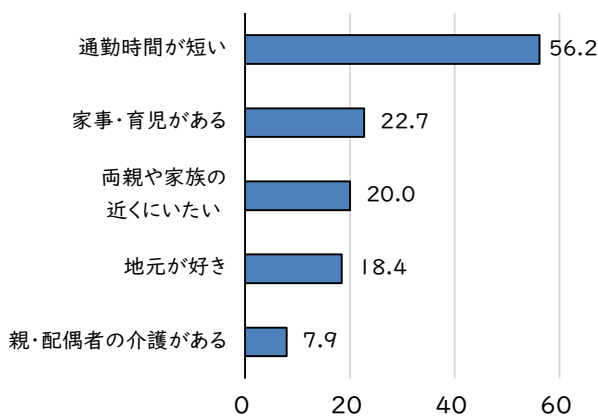


- 正規の職員・従業員
- 契約社員・嘱託
- 派遣社員
- パート・アルバイト(学生を除く)
- 企業などの役員
- 農林漁業の自営業・家族従業員
- 商工・サービス業の自営業・家族従業員(卸売業・飲食業・製造業・建設業など)
- その他自営業(開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など)
- 家事専業・家事手伝い
- 無職
- 学生
- その他
- 無回答

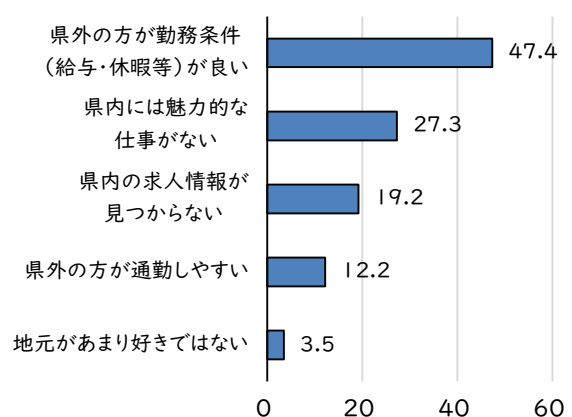
## 問35・37 県内(県外)で仕事をする(希望する)理由と仕事を選ぶ際重視する点

- ・県内で仕事をする(希望する)理由は「通勤時間が短い」(56.2%)が最も多かった。
- ・県外で仕事をする(希望する)理由は「県外の方が勤務条件(給与・休暇等)が良い」(47.4%)が最も多かった。
- ・仕事を選ぶ際重視する点は、「人間関係が良い」が3.38ポイントで最も多かった。

問35-① 県内で仕事をする方・希望する方

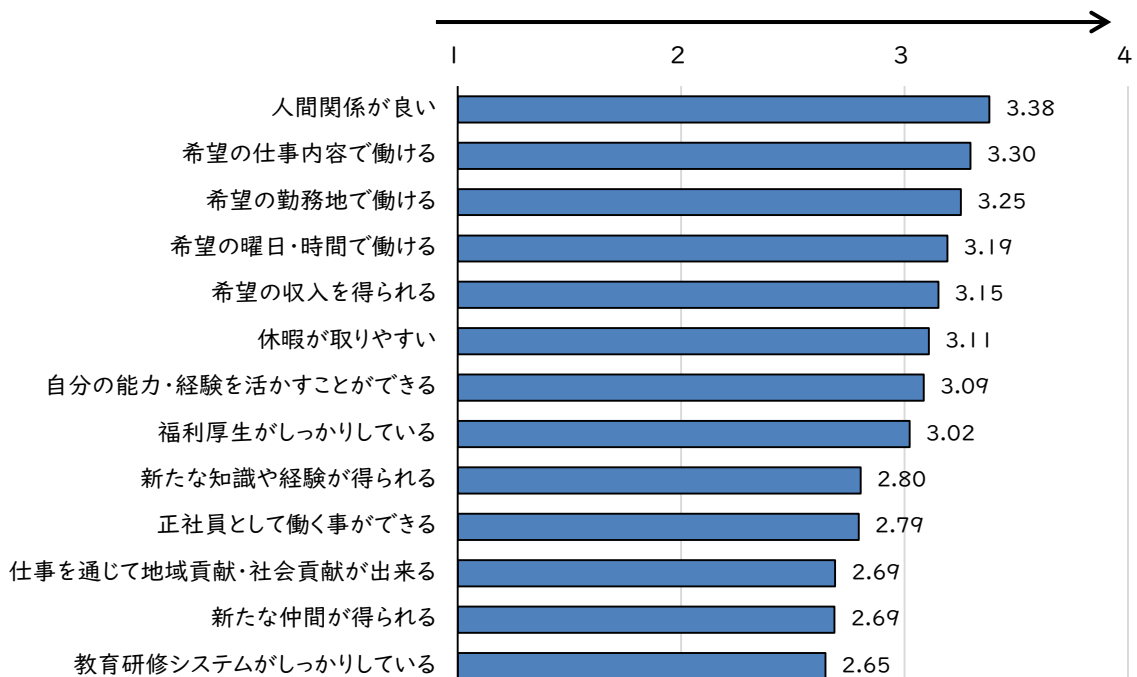


問35-② 県外で仕事をする方・希望する方



※3つ以内で複数回答  
その他除く上位5項目

問37 仕事を選ぶ際、重視する点(4段階ポイント評価)



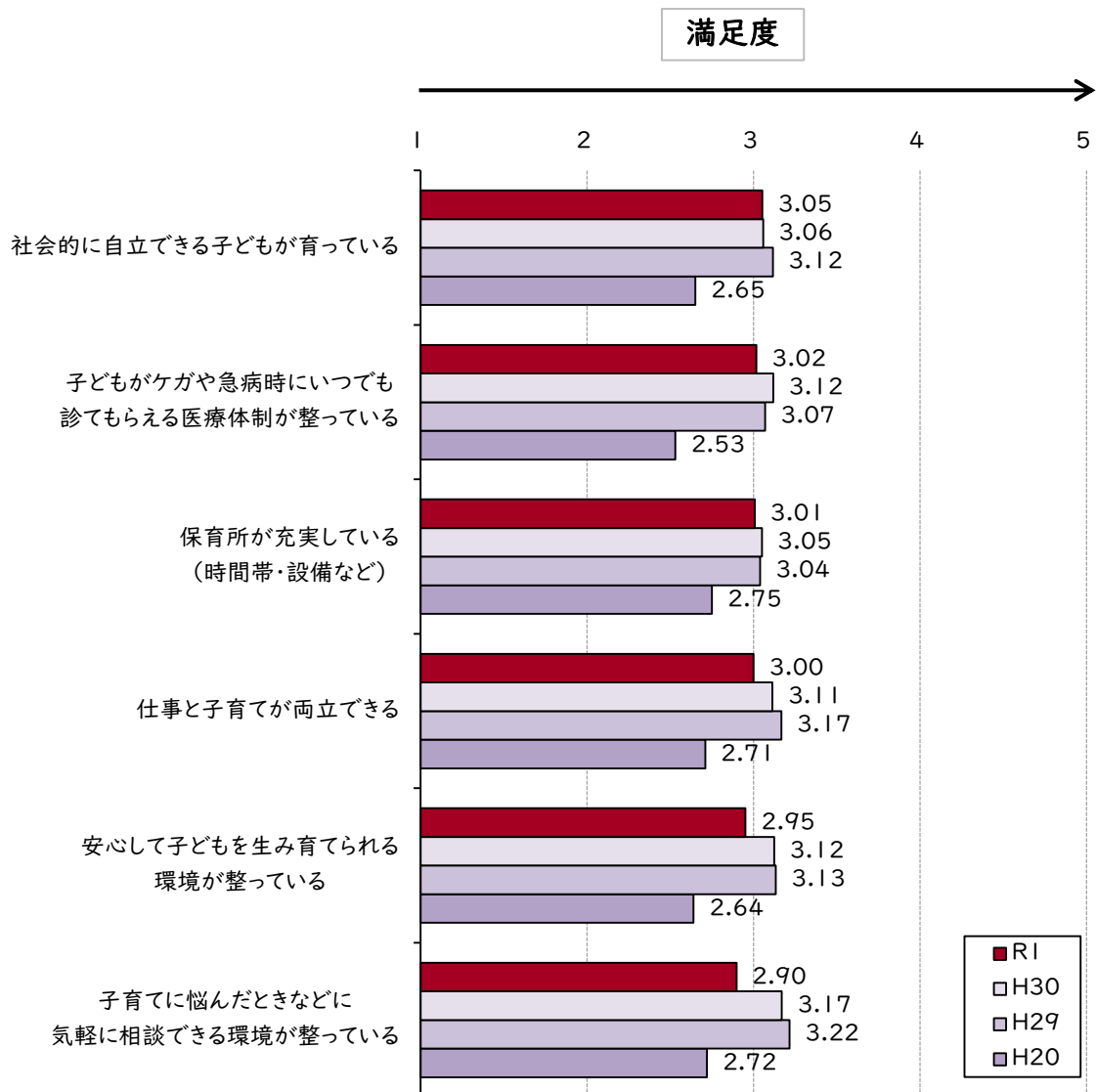
※数値は、仕事を選ぶ際、重視する各項目についての回答それぞれに次の点数を与え、平均をとった値。  
とても重視する(4点) 重視する(3点) あまり重視しない(2点) 重視しない(1点)

## 9. 少子化対策について

### 問39 子育てに関する満足度について

- ・質問6項目全てにおいて、平成20年より増加しているが、昨年より減少した。
- ・「社会的に自立できる子どもが育っている」が3.05ポイントで6項目中一番満足度が高く、平成20年(2.65ポイント)より0.4ポイント増加している。
- ・「子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っている」が2.90ポイントで6項目中一番満足度が低い。

### 問39 子育てに関する満足度 (5段階ポイント評価)



※数値は、子育てに関する各項目についての回答それぞれに次の点数を与え、平均をとった値。

十分満たされている(5点) かなり満たされている(4点) どちらともいえない(3点) あまり満たされていない(2点) ほとんど満たされていない(1点)

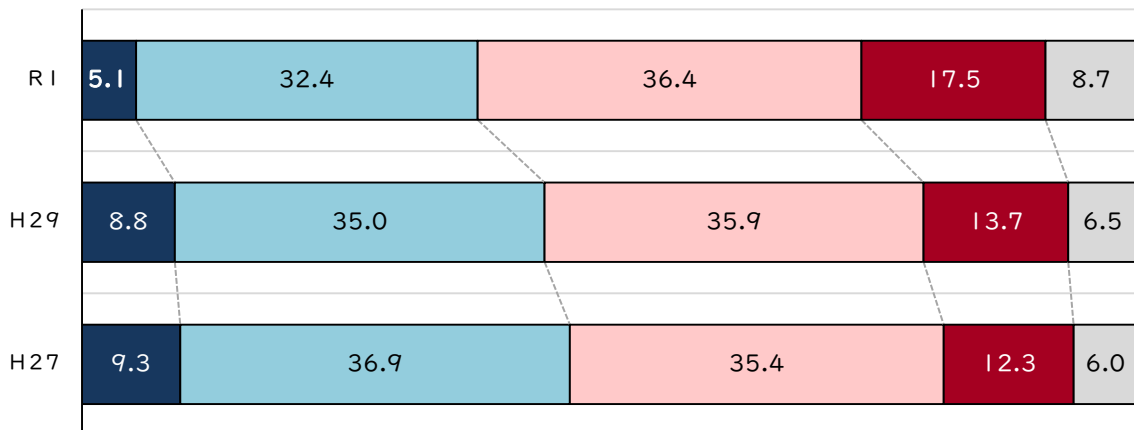
## 10. 女性の活躍推進について

### 問40・41 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方と女性の活躍について

#### 問40 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方の賛否について

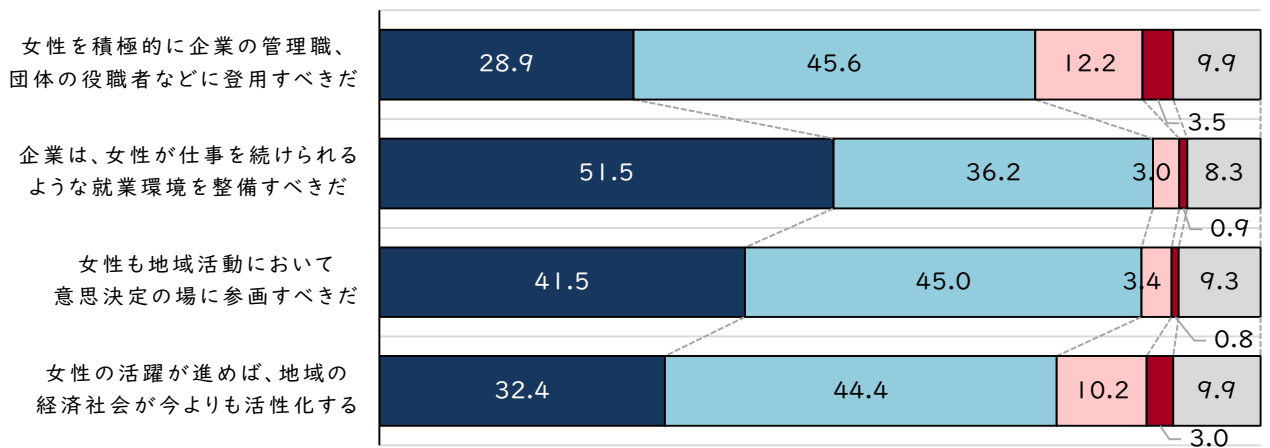
- ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた人の割合は37.5%で、平成29年(43.8%)より6.3ポイント減少、「どちらかといえば反対」または「反対」と答えた人の割合は53.8%で、平成29年(49.7%)より4.1ポイント増加した。
- ・女性の活躍については、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は、「企業は、女性が仕事を続けられるような就業環境を整備すべきだ」(87.8%)が最も多かった。

■ 賛成 □ どちらかといえば賛成 □ どちらかといえば反対 ■ 反対 □ 無回答



#### 問41 女性の活躍について

■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



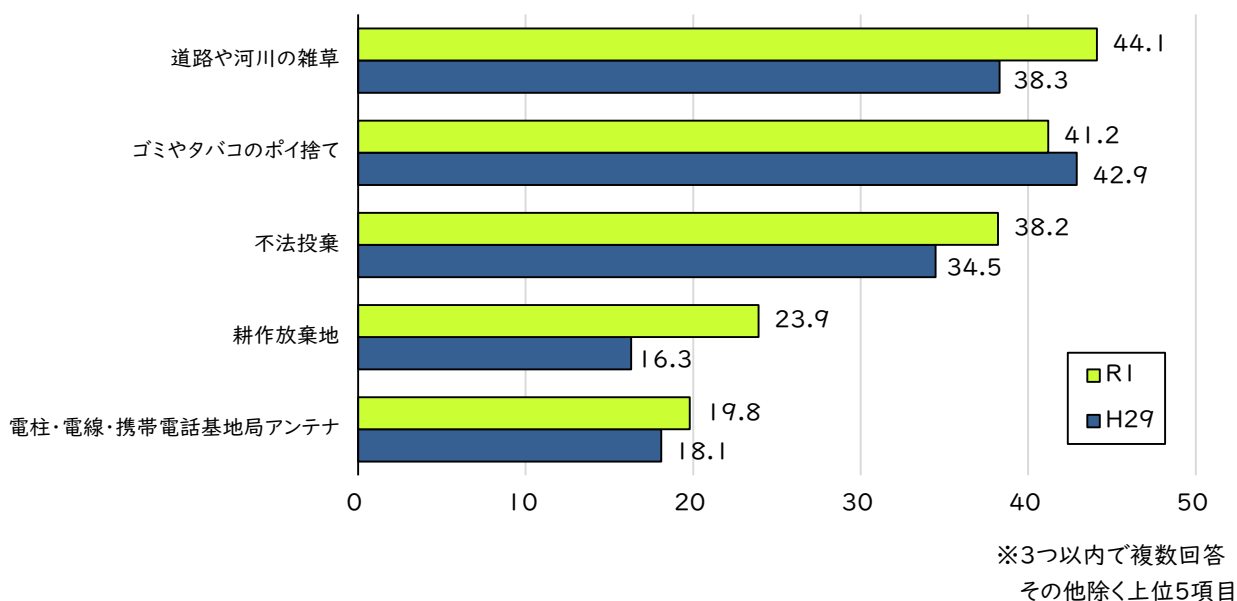


## 11. 景観・環境保全について

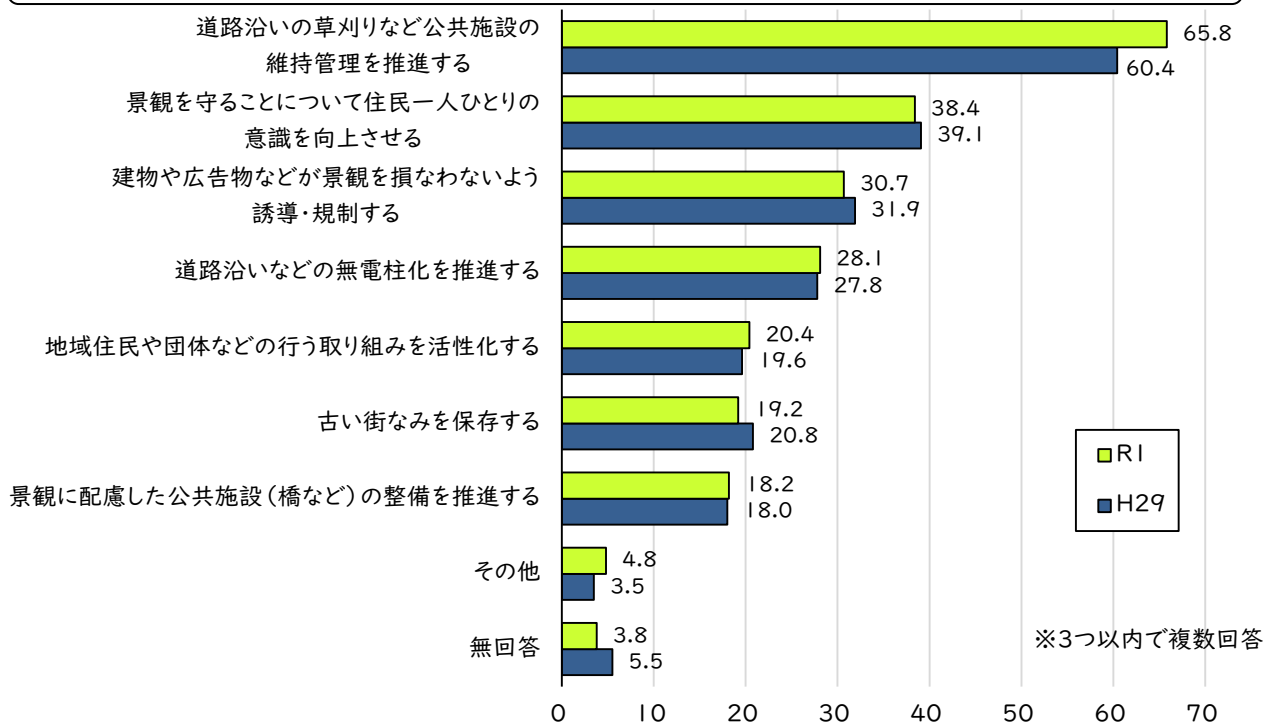
### 問42・43 景観を損ねているものと美しい景観を守るために行政が取り組むべきことについて

#### 問42 景観を損ねていると感じるものについて

- 地域で景観を損ねているものは、「道路や河川の雑草」(44.1%)が1位で、平成29年(38.3%)より5.8ポイント増加した。
- 景観を守るため、行政が力を入れて取り組むべきことは、「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」(65.8%)が1位となり、平成29年(60.4%)より5.4ポイント増加した。



#### 問43 今後美しい景観を引き続き守るために、行政が力を入れて取り組むべきことについて



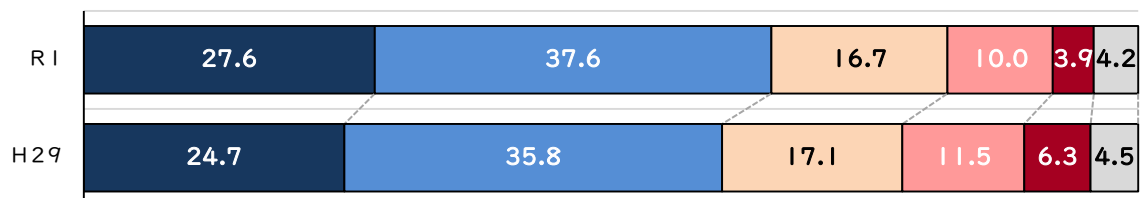
## 12. エネルギー政策の推進について

### 問44・46 再生可能エネルギーの利活用への関心と日常的に取り組んでいることについて

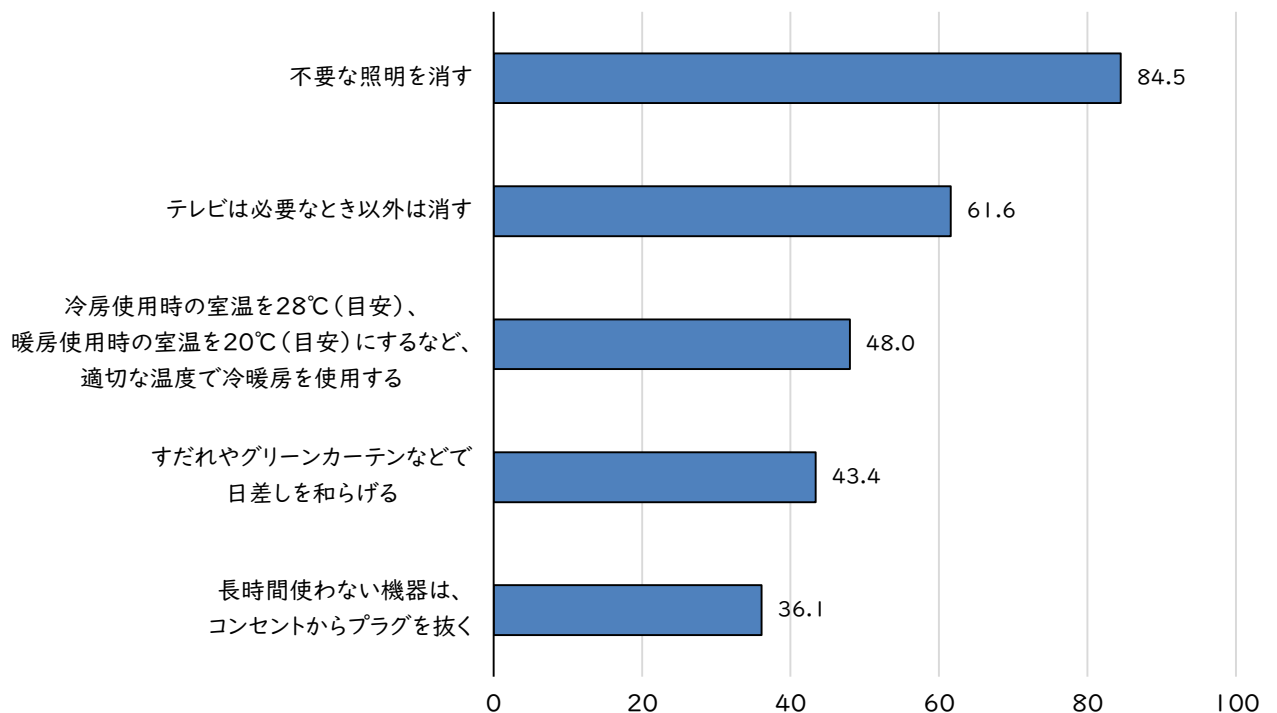
#### 問44 「再生可能エネルギー等の利活用への関心」について

- ・「再生可能エネルギー等の利活用への関心」について、「大いにある」または「少しある」(65.2%)が、「あまりない」または「ほとんどない」(13.9%)を大きく上回っている。「大いにある」または「少しある」は、平成29年(60.5%)より4.7ポイント増加した。
- ・「省エネ・節電のため、日常的に取り組んでいるもの」については、「不要な照明を消す」(84.5%)が最も多かった。

■大いにある ■少しある □どちらともいえない □あまりない ■ほとんどない □無回答



#### 問46 省エネ・節電のため、日常的に取り組んでいるものについて

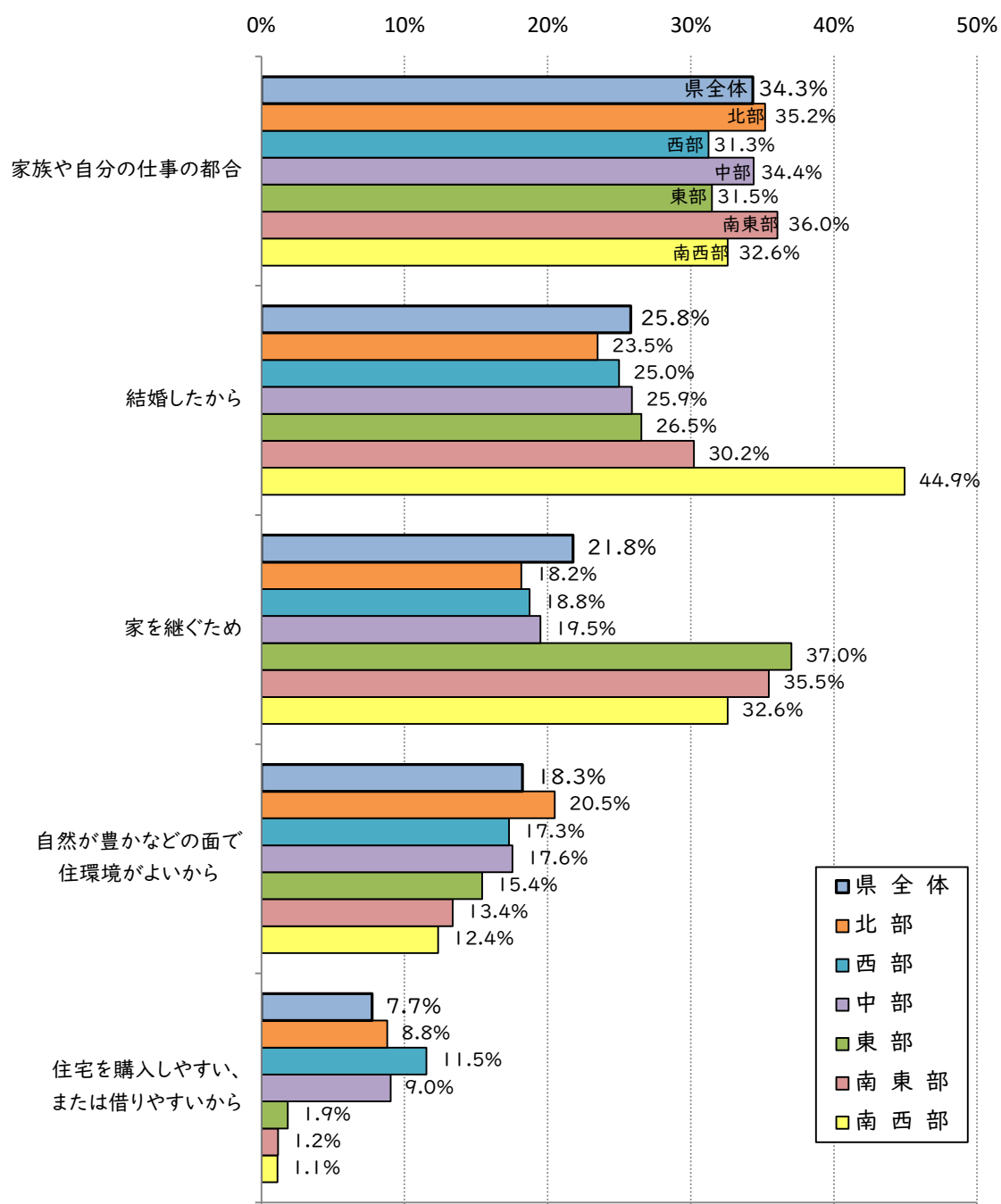


※複数回答  
その他除く上位5項目

### 13. 回答者に関すること

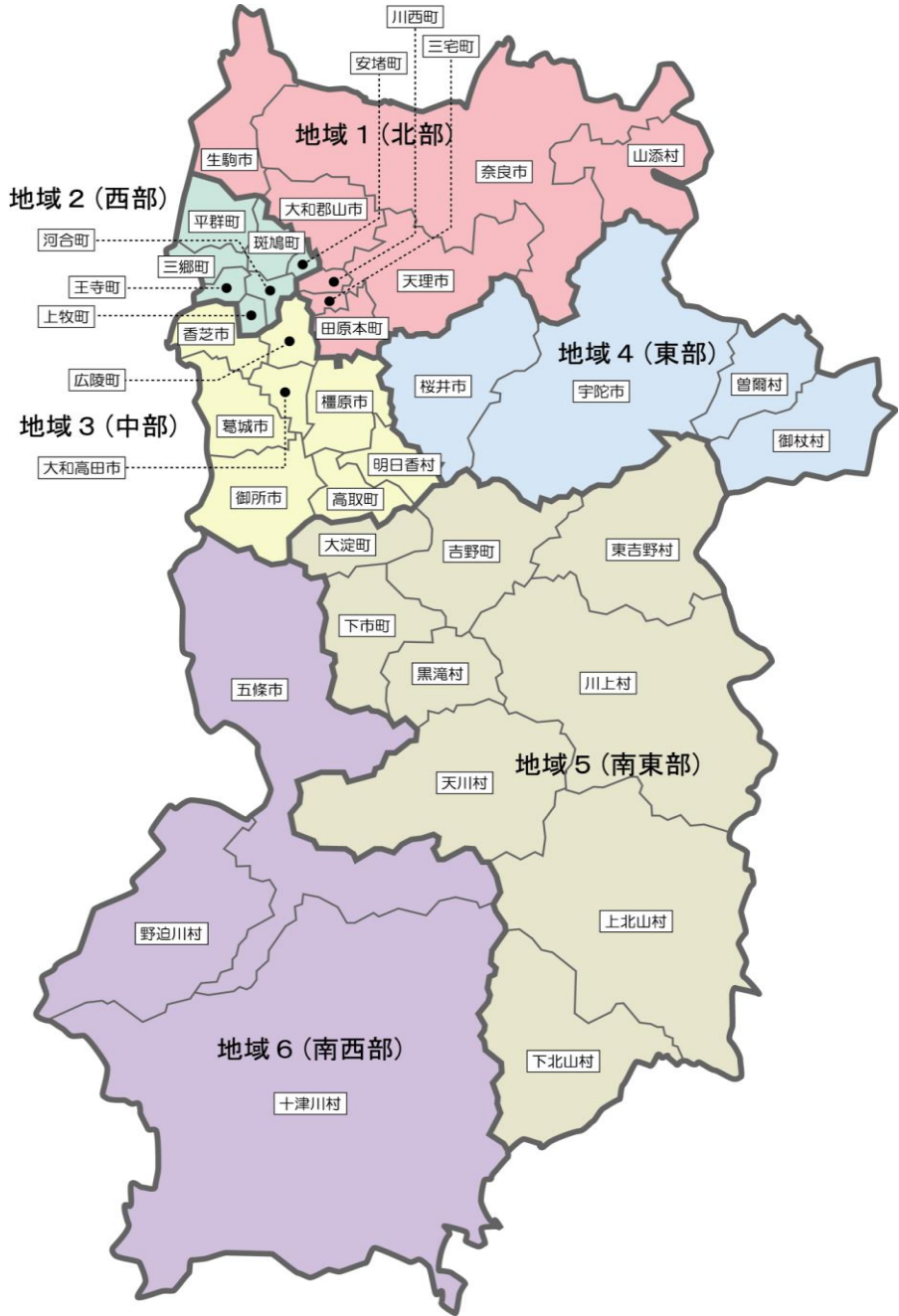
#### 問53 奈良県での居住理由

- 奈良県に居住している理由として最も多かったのは、県全体では「家族や自分の仕事の都合」(34.3%)、南西部では「結婚したから」(44.9%)だった。
- 東部、南東部、南西部では「家を継ぐため」が多い。



※2つ以内で複数回答  
※その他除く上位5項目

# 地 域 の 区 分



区分名	市 町 村 名
地域1 (北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2 (西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3 (中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4 (東部)	桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村
地域5 (南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6 (南西部)	五條市・野迫川村・十津川村